

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	建設部都市計画課		■担当係	公園緑地係
■評価事業名称	修景緑化活動事業			
■評価事業コード	070400 - 302	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり		
	■基本施策	01 快適な居住環境の形成		
	■施策	03 緑のまちづくりの推進		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	都市緑地法			
■関連計画の名称	北上市緑の基本計画			
■事業の目的と概要	市民による緑の景観構築と緑化推進の意識高揚を図る。修景緑化講座の開催及び関連事務			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	修景緑化活動事業	市民		修景緑化講座開催3回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	949	979	1,371	1,533	
人件費	988	982	1,135	4,091	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,937	1,961	2,506	5,624	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	修景緑化講座開催	3回	3回	3回	3回	(1)プランター講習(2)ハンギングバスケット講習(3)大型プランター講習
03	緑化延長距離	145m	191m	540m	792m	緑化延長距離
04	1m当りコスト	13,358円	10,267円	4,641円	7,101円	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

一部地域であるが緑化推進の意識高揚を図ることができた。

問題点・課題等

講座を受講した方々がそれぞれの地域において実践されていない状況である。全地域において緑花意識の高揚を図る必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■ 今後の方向性

- I. 拡充
- IV. 民間活用・協働事業化
- II. 継続
- V. 廃止・休止
- III. 縮小・要改善
- VI. 完了

補足説明